C★MET ANTENNA

430MHz帯　5素子八木アンテナ

# MODEL CYA-405

Optimized for Fox-Hunting use

# 取扱説明書

お買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

**安全にお使いいただくために！**
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上で正しくお使い下さい。
この取扱説明書は、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておいて下さい。

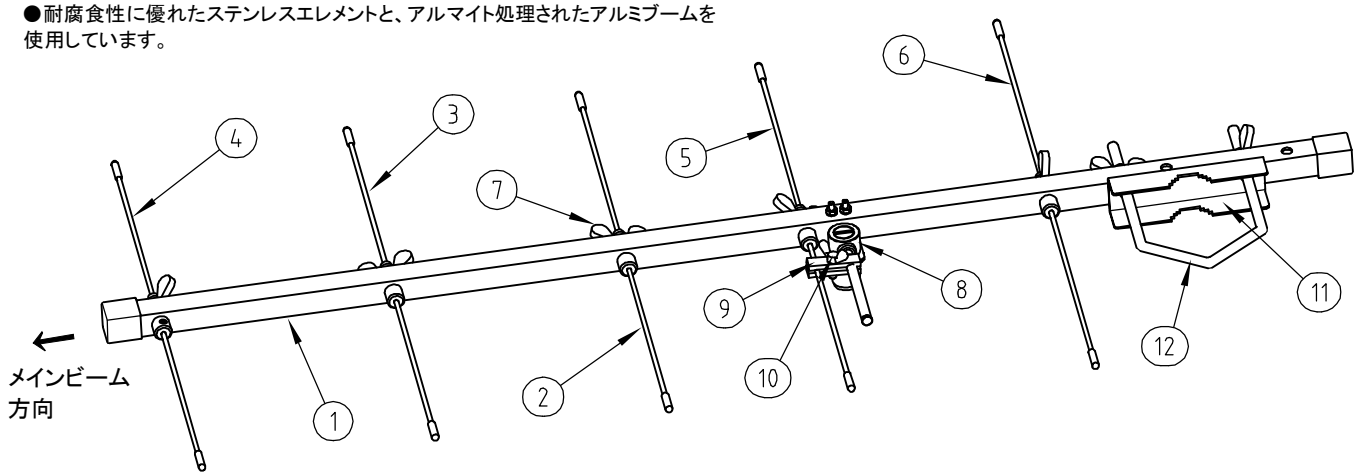
## 【 特　長 】

●軽量でコンパクトなスタイルです。
●高利得・良好なF/B比ですので、受信電波の到来方向がわかりやすく、フォックスハンティングに最適です。
●蝶ナットを使用しているので、分解が容易で省スペースにまとめることができます。
●取付金具の向きを変えることで、垂直・水平両方の設置に対応しています。
●耐腐食性に優れたステンレスエレメントと、アルマイト処理されたアルミブームを使用しています。

**組み立てる前に！**

☆梱包箱を開封しましたら、パーツリストにより各部品を確認して下さい。

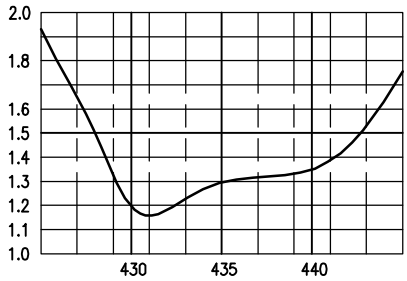
ブームと各エレメントの両端には保護キャップが取り付け済みです。取り外さずにそのままご使用下さい。




## 【 性能諸元 】

● 周波数帯域 ： 430～440MHz
● 素子数 ： 5素子
● アンテナ利得 ： 約12.15dBi
● F/B比 ： 18dB以上
● 耐入力 ： 最大　60 W (FM)
● インピーダンス ： 50 Ω
● VSWR ： 1.5 以下
● 質　量 ： 約 0.47 kg
● 全　長 ： 0.72 m
● コネクター ： M-J 型
● 取付マスト径範囲 ： φ28～φ62(mm)

VSWR特性例




(※) 実際の特性は設置方法、周囲の環境によって変動する可能性があります。

## パーツリスト

| 項目 | 名前 | 数量 |
|---|---|---|
| 1 | ブーム | 1 |
| 2 | D1 第一導波器 L=308mm | 1 |
| 3 | D2 第二導波器 L=301mm | 1 |
| 4 | D3 第三導波器 L=297mm | 1 |
| 5 | P 放射器　L=316mm | 1 |
| 6 | R 反射器　L=336mm | 1 |
| 7 | 蝶ナット | 1 |
| 8 | 給電部 (組立済) | 1 |
| 9 | ショートバー (ペア) | 1 |
| 10 | 蝶ボルト　M4 | 1 |
| 11 | 取付金具 | 1 |
| 12 | 角U字ボルト | 1 |
| 13 | M6用スプリングワッシャー | 7 |
| 14 | M3用平ワッシャー | 2 |
| 15 | M3用スプリングワッシャー | 2 |
| 16 | M3 六角ナット | 2 |
| 17 | M3× 22なべねじ | 2 |
| 18 | M4用スプリングワッシャー | 1 |
| 19 | 自己融着テープ　約20cm | 1 |
| 20 | L形六角レンチ　対辺2 | 1 |

自己融着テープはコネクタ部を防水処理する場合、L形六角レンチは各エレメント中心部のイモネジを増し締めする場合にご使用下さい。

## ⚠作業・設置上の注意

● 接続ケーブルのコネクタが、アンテナのコネクタと勘合することを確認して下さい。
違う種類ですと接続できなかったり、または破損する場合があります。

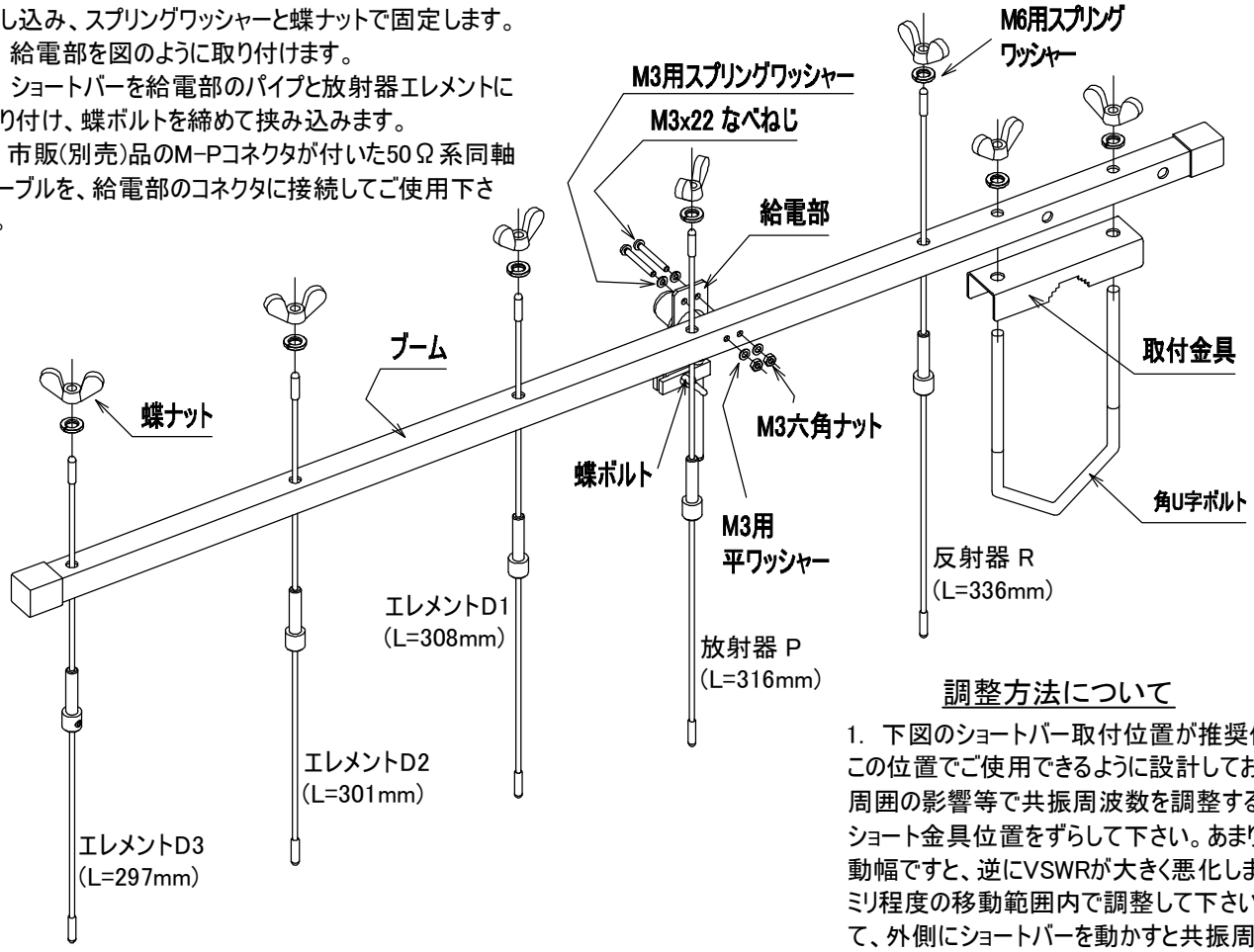
● 取付ネジ・金具類は、しっかりと締め付けて固定して下さい。
固定が悪い場合は振動や強風等で緩み、落下事故などの原因になることがあります。
また、設置時の部品落下やケガに注意して下さい。

● このアンテナの周囲に他のアンテナや金属等の導電体がありますと、
影響でVSWR悪化・共振周波数ずれの原因になることがあります。
そうした場合には、取付位置等の変更をお願いします。

● ベランダ等、容易に手が届く場所に設置の場合は、お子様などが送信中のアンテナに触れることがないように、十分に注意をして下さい。

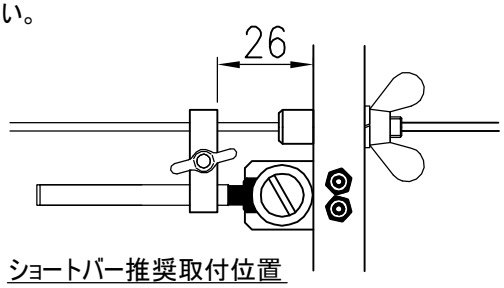
【組立手順】

1. 下図のように各エレメントを位置に注意してブームに差し込み、スプリングワッシャーと蝶ナットで固定します。
2. 給電部を図のように取り付けます。
3. ショートバーを給電部のパイプと放射器エレメントに取り付け、蝶ボルトを締めて挟み込みます。
4. 市販(別売)品のM-Pコネクタが付いた50Ω系同軸ケーブルを、給電部のコネクタに接続してご使用下さい。




## 調整方法について

1. 下図のショートバー取付位置が推奨位置です。この位置でご使用できるように設計しておりますが、周囲の影響等で共振周波数を調整する場合は、ショート金具位置をずらして下さい。あまり大きな移動幅ですと、逆にVSWRが大きく悪化しますので、数ミリ程度の移動範囲内で調整して下さい。傾向として、外側にショートバーを動かすと共振周波数は高い方へ移動します。
2. 調整後は蝶ボルトをしっかりと締めて固定して下さい。




ショートバー推奨取付位置

※ 給電部は左右どちらの向きでも使用できますが、蝶ナットと干渉しない方へ取り付けて下さい。

## ⚠ ご使用時の注意点

● ご使用中に異常と思われる現象が発生した場合には、直ちにご使用を中止し、アンテナの状態をご確認下さい。
● 規格以上のパワー入力、エレメントを取り外しての使用、エレメントを追加する等の改造は行わないで下さい。破損や十分な性能が出ない原因となります。
● 雷発生時はアンテナ及びケーブル等には触れないで下さい。感電の危険性があります。
●長期間使用しない場合などは、機器からケーブルをはずして下さい。

こんな時は？

○ VSWRが良くない
・周囲に障害物(特に金属物)がありませんか？ できるだけ周囲に障害物がないように設置をお勧めします。
・同軸ケーブルの配線方法で変化することがあります。ケーブルの配線位置を調整してみて下さい。

○ 故障したかもしれない
・給電部の周囲に異常がないかご確認下さい。ショート金具を動かしてもどこにも同調点がない場合は、故障していると考えられます。その場合は、お買い求めいただいた販売店にご相談下さい。

その他、技術的な質問等ございましたら、弊社の技術にお問い合わせ下さい。
Webのホームページからもお問い合わせが可能です。

**コメット株式会社** 住所 埼玉県さいたま市南区辻4-18-2
TEL 048-839-3131(代) FAX 048-839-3136
http://www.comet-ant.co.jp

性能向上のため、予告なく仕様及び外観を変更することがありますのでご了承下さい。

KA10FEBV2